

古着を繋ぎ合わせた巨大パッチワーク作品や一般参加型の大型パレードなど、  
「動け、カラダ！」に基づく多彩なプログラムを展開！

## 六本木アートナイト 2014 メインビジュアル&プログラムが遂に決定！

2014年4月19日(土)～20日(日)に開催が決定している一夜限りのアートの祭典「六本木アートナイト2014」。六本木アートナイト実行委員会は、この度、アーティスティックディレクター日比野克彦氏と共に、今回のテーマ「動け、カラダ！」に基づいたメインビジュアルおよび多種多様なプログラムを決定いたしました。

今回で5回目<sup>※1</sup>を迎える「六本木アートナイト」は、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルの提案と、大都市東京における街づくりの先駆的なモデル創出を目的に2009年より開催している一夜限りのアートの饗宴です。昨年は延べ83万人<sup>※2</sup>が来場するなど参加者も年々増加しています。

アートを創造するためには目であり、耳であり、手であり、足であり、頭であり、心であり、人間の様々な感覚器官や部位を関わらせる必要があります。今回のテーマ「動け、カラダ！」は、かねてから日比野氏最大の関心事のひとつである「アートの持つ身体性」という側面に目を向けたものです。

「六本木アートナイト 2014」のメインビジュアルは、そんな「動け、カラダ！」というテーマに基づき、体のパーツを散りばめた躍動感あるデザインとなっています。また、蛍光色を使用しているため、街の中に点在させてもインパクトがあり、多くの方の目にとめていただけるものに仕上がりました。

※1: 2011年は東日本大震災により中止 ※2: 全プログラムの延べ鑑賞者数



六本木アートナイト 2014 メインビジュアル

### 身体性をテーマに多様なプログラムを展開

六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館で展開する《カラダひとつプロジェクト》は、アーティストの西尾美也氏が古着を再利用して制作する巨大なパッチワークアート作品を展示し、作品のまわりでは、様々なアーティストと触れ合うことのできる体感型コンテンツを実施します。

また、ダンサー・振付家の伊藤キム氏監修によるダンスパフォーマンスを取り入れたパレード隊が六本木を行進します。六本木パレード《ふわりたいながりたい つなぎたい》と名付けられたパレードは、一際目をひく衣装や道具、美術を取り入れて六本木の街を練り歩きます。

他にも、六本木の新しい魅力を発見できるアートのスポットを街中に点在させたインスタレーション&パフォーマンスや、ワールドカップ開幕を前に盛り上がるサッカーとアートを組み合わせたプロジェクトを実施。また、昨年好評を博したアーティストと公募による参加者が同じテーブルを囲み語り合う《六本木夜楽会(ろくほんもくよらくえ)》も再び開催。今回のテーマであるカラダと密接に関わる「食」をテーマにしたプログラムも加わる予定です。



作品制作する西尾美也氏

アートナイト当日は、各美術館やギャラリー、施設で開催されている展覧会の特別プログラムや、開館時間延長、入場料割引、さらに各店舗での様々なサービスなど、工夫が凝らされた夜通し楽しめるプログラムが満載です。六本木の街中がオールナイトでアートに彩られる祭典を、ぜひご期待ください。

各プログラム概要は、次頁以降を参照ください。なお本リリース内容は2014年2月時点のものであり、今後変更になる場合があります。

## 【「六本木アートナイト 2014」 広域プログラム】

### 《カラダひとつプロジェクト》

アーティストの西尾美也氏が古着を再利用した巨大なパッチワークの艺术作品を制作するプロジェクト。

六本木ヒルズアリーナでは古着を繋ぎ合わせて制作する、人を包み込むような巨大な作品《人間の家[スカート]》を展示。東京ミッドタウンでは花柄の古着のみで花を形作る《花柄／花》を、さらに国立新美術館では古着からボタンだけを採用し、テグスで繋げて作る《ボタン／雨》でインスタレーション空間を創出します。展示された作品の周囲では、夜通し様々なパフォーマンスも実施する予定です。

### みんなで作る・参加する「六本木アートナイト 2014」

「六本木アートナイト 2014」では制作過程から、多くの方々に参加いただくことにも力を注いでいます。その取り組みの一つとして、《カラダひとつプロジェクト》では、作品の材料となる古着を地域の皆さんをはじめ広く一般から募集するとともに、集まった古着で西尾氏と一緒に作品をつくるワークショップも3月に実施します。詳細は六本木アートナイト公式サイトをご覧ください。

＜西尾美也氏の作品イメージ＞



A:《人間の家[家]》2010年 撮影:齋藤剛  
B:《花柄／花》2011年 撮影:下道基行  
C:《ボタン／雨》2011年 撮影:下道基行

### 西尾美也 プロフィール

1982年奈良県生まれ。現在は東京とナイロビを拠点に活動する。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程修了。先端芸術表現を専門にし、装いの行為とコミュニケーションの関係性に着目ながら市民や学生との協働によるプロジェクトを国内外で展開。代表的なプロジェクトに、世界のさまざまな都市で見ず知らずの通行人と衣服を交換する《Self Select》や、数十年前の家族写真を同じ場所、装い、メンバーで再現制作する《家族の制服》、世界各地の巨大な喪失物を古着のパッチワークで再建する《Overall》などがある。



### 六本木パレード《ふわりたい ながれたい つなぎたい》

ダンサー・振付家の伊藤キム氏監修による、地元(六本木)の方や一般公募の参加者によるダンスパフォーマンスを取り入れたパレードを実施。六本木ヒルズ、東京ミッドタウン、国立新美術館やストリートを繋ぐ予定です。

参加者の衣装は、廃材で巨人を作るアートワークを制作し続けるアーティストの吉田一郎氏が監修。賑わう六本木の街でも一際目をひく衣装や小道具、美術でパレードを盛り上げます。



伊藤キム氏が手掛けた過去のパフォーマンス風景

### 伊藤キム プロフィール

1987年、舞踏家・古川あんずに師事。1995年「伊藤キム+輝く未来」を結成。96年バニョレ国際振付賞、2002年第一回朝日舞台芸術賞・寺山修司賞、08年横浜文化賞奨励賞。05～06年にバックパックを背負って半年間の世界一周の旅に出る。帰国後「もう新作は作らない」と宣言。11年「輝く未来」を解散。近年は教育にも活動の幅を広げ、若手ダンサーの育成や現役中高生との作品制作にも取り組む。また、おやじが踊って給仕する「おやじカフェ」のプロデュースを各所で行う。13年、京都・本能寺創建600年の記念イベント『本能寺のD』で演出・振付・出演、国内外をツアー。青山学院大学ワークショップデザイナー育成プログラム修了。京都造形芸術大学客員教授。



### その他参加予定者(一部)

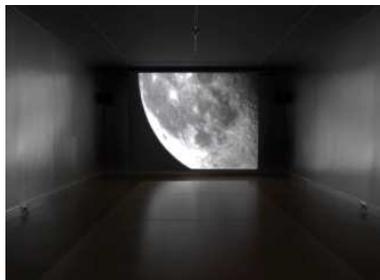
吉田一郎(美術家)、川瀬浩介(作曲家)、伊豆牧子(ダンサー)、手代木花野(ダンサー)、京極朋彦(ダンサー)、日本女子体育大学 舞踊学専攻学生有志、他

## 街を彩るインスタレーション&パフォーマンス

六本木アートナイトでは毎年、街中のお店やストリート、公園などに作品を点在させることにより、六本木の街の魅力を発見できる夜をつくり出しています。今年も大型のインスタレーションや、「動け、カラダ！」のテーマに相応しいダンサー、パフォーマーによる生身の身体をつかったダンスや舞台の要素を取り入れた街中パフォーマンスを各所で実施します。



LEE WEN 《Ping Pong Go Round》  
2012年



篠田太郎《月面反射通信技術》  
2007年～



Mr. Candle (黄明正)  
《Taipei, a Cursed City.》



hyslom(ヒスロム)



んまつーボス



東野祥子



岩淵貞太

※図版は全て参加予定作家の作品一例であり、今回の参加作品とは限りません。

### その他参加予定作家(一部)

遠藤一郎、佐藤悠、杉山夏実、他

## スポーツ&アートプロジェクト

テーマ「動け、カラダ！」をもっとも表現できる「スポーツ」を「アート」と融合させたプロジェクト。ワールドカップ開幕を直前に控え、サッカーとアートを組み合わせた《マッチフラッグプロジェクト》と《ヒビノカップ in 六本木》を実施します。

《マッチフラッグプロジェクト》では、ワールドカップの対戦国と日本の国旗をモチーフとした大きなフラッグを制作、《ヒビノカップ in 六本木》では、サッカーに必要なボールやゴール、ユニフォームをすべて手作りし、完成したそれらを使って、子供も大人も入り混じってのサッカー大会を行います。

参加者は後日公式ウェブサイトにて公募します。



昨年の《ヒビノカップ in 六本木》の様子

## だいにかいらくほんもくよらくえ 《第二回六本木夜楽会》

昨年好評を博した六本木のお店を舞台に、様々なアーティストや各界の気鋭のプロフェッショナルが意見を交換する場《六本木夜楽会》を今年も開催。少人数でアーティストを囲み、ここでしか聞くことのできないクロストークを満喫し、食事を楽しみながら、アーティストと直接コミュニケーションを取ることのできる貴重な機会です。

今年は、カラダと密接に関わる「食」をテーマにしたアートプログラムも展開予定です。

参加には、事前申込が必要となります。詳細が決まり次第、六本木アートナイト公式ウェブサイトに掲載します。



昨年の様子

## 【六本木ヒルズ プログラム】

六本木ヒルズは昨年同様、一夜限りの美術館に変貌。普段の風景を一変してしまうインスタレーションや体験型の作品など、アートづくりの非日常的な一夜を体験してください。

### <特別プログラム>

#### ■インスタレーション作品展示

六本木ヒルズ内各所に、様々なアーティストによる一夜限りの作品が登場します。  
※図版は全て作家の既存の作品であり、今回の参加作品とは限りません。



八谷和彦 《視聴覚交換マシン》  
1993年



小松宏誠  
図版: アトリエオモヤ《Another Moon Tokushima》



SHIMURAbros 《EICON / SLAPSTICK》

#### ■六本木ヒルズ展望台 東京シティビュー オールナイト開館およびアートナイト特別入館料

海拔250mに位置する六本木ヒルズ展望台も翌朝6:00までオールナイト開館。どこまでも続く光の海や、都市が徐々に色づきはじめる日の出など、「都市という名のアート」をお楽しみください。

- ・日時: 4月19日(土)10:00~20日(日)6:00
- ・料金: 4月19日(土)24:00~20日(日)6:00までの時間に限り入館料一般1,000円 (左記時間帯以外は通常通り一般1,500円)

#### ■六本木天文クラブ アートナイト特別星空観察会

オープンエアの展望施設としては日本一の高さに位置している「スカイデッキ」の通常入れないヘリポートに天体望遠鏡を設置し、天文学の専門家と共に星空を観察します。

- ・日時: 4月19日(土)19:00~22:00
- ・場所: 東京シティビュー「スカイデッキ」(六本木ヒルズ森タワー屋上)
- ・料金: 無料 ※東京シティビュー/スカイデッキまでの入場料が別途必要



#### ■MADO LOUNGE & ASOBISYSTEM presents “ASOBIART”@マドラウンジ+Andy Warhol Café

アート×音楽×ファッションをキーワードに、ポップ・アートの巨匠 アンディ・ウォーホルの世界観からインスパイアされた豪華出演者達による現代のポップ・カルチャー・シーンが体现できるスペシャル・コラボレーションイベントです。

- ・日時/場所:
  - 4月19日(土)21:00~20日(日)5:00 @マドラウンジ(東京シティビュー内)
  - 4月19日(土)24:00~20日(日)5:00 @マドラウンジ スパイス「Andy Warhol Café」(東京シティビュー内)
- ・出演: 中田ヤスタカ(CAPSULE)、RAM RIDER、80KIDZ、DE DE MOUSE、SOUCUTS a. k. a. UCHIDA(vetica)、やのあんな、Yun\*chi、他
- ・料金: 当日5,000円

#### ■森アーツセンターギャラリー「こども展」営業時間延長

開催中の「こども展」営業時間を通常より2時間延長いたします。  
モネ、ルノワール、ルソー、ピカソ。巨匠たちが愛情を込めて描いた、子供の肖像画が集結します。  
出展作品の約3分の2が日本初公開。どうぞお見逃しなく。

- ・日時: 4月19日(土)10:00~22:00 ※入館は閉館の30分前まで
- ・場所: 森アーツセンターギャラリー
- ・料金: 一般1,500円、大学生1,200円、中高生800円

#### ■六本木ヒルズ A/D ギャラリー「美島菊名展」営業時間延長

モデルの立ち位置から小道具作りまで細部にこだわった演出で世界観を表現していく美島菊名の写真展の営業時間を通常より1時間延長いたします。

- ・日時: 4月19日(土)12:00~21:00
- ・場所: 六本木ヒルズ A/Dギャラリー
- ・料金: 無料



アンリ・ルソー  
《人形を抱く子ども》  
1904-05年頃  
オランジュリー美術館  
©RMN-Grand Palais (musée de l'Orangerie) / Franck Raux / distributed by AMF - DNPartcom

<一般の方からのお問い合わせ先>

六本木ヒルズ(住所: 東京都港区六本木 6-10-1)

TEL: 03-6406-6000(インフォメーションセンター) <http://www.roppongihills.com>

## 【森美術館 プログラム】

開館 10 周年記念として『アンディ・ウォーホル展:永遠の 15 分』を開催中の森美術館。  
4 月 19 日(土)に限り、翌朝 6:00 まで開館を延長し、特別プログラムを展開していく予定です。

### <特別プログラム>

#### ■スペシャルトーク ※日本語のみ

1974 年、東京と神戸の大丸デパートでの個展で注目を浴びたウォーホル。1983 年には日本を代表する花として菊を主題とした《Kiku》を発表しました。この作品の制作や日本におけるウォーホル展開催に携るなど、当時を良く知る 3 者を迎え、作品誕生の秘話や日本におけるウォーホルの受容について紹介します。

- ・日時:4月19日(土)20:00~21:30
- ・場所:マドラウンジ スペース「Andy Warhol Café」(東京シティビュー内)
- ・出演:綿貫不二夫(ときの忘れものディレクター)、根本寿幸(GALLERY360° ディレクター)、石田了一(摺師、石田了一工房代表)
- ・定員:60名 ※要予約
- ・料金:無料 ※要展覧会チケット

#### ■スペシャル子どもツアー

##### アンディ・ウォーホルってどんな人?どんな方法で作品をつくったのかな? ※日本語のみ

美術館スタッフと一緒に展覧会を鑑賞した後、アーティストの右田啓子さんを講師に招き、ウォーホルが作品制作で使ったシルクスクリーンの技術を体験します。

- ・日時:4月20日(日)10:30~12:00
- ・講師:右田啓子(アーティスト)、白木栄世(森美術館エデュケーター)
- ・場所:森美術館展示室内、他
- ・対象:小学生
- ・定員:10組、親子参加可 ※要予約
- ・料金:材料費500円 ※要展覧会チケット

各プログラムの申込方法:森美術館ウェブサイト([www.mori.art.museum](http://www.mori.art.museum))より受付。

### <期間中の展覧会>

#### 森美術館 10 周年記念展『アンディ・ウォーホル展:永遠の 15 分』

ポップ・アートの旗手、アンディ・ウォーホル(1928-1987 年)は、米国に生まれ、消費社会と大衆文化の時代を背景に活躍した、20 世紀後半を代表するアーティストです。デザイナー、画家、映画制作者、社交家と多様な顔を持ち、ジャンルを超えたマルチクリエイターとして活躍しました。本展は、約 700 点におよぶ初期から晩年までのウォーホルの作品と資料を包括的に紹介する、日本では過去最大級の回顧展です。作家の主要シリーズを網羅した本展はウォーホルを知らない人には「入門編」となり、また、日本初公開の作品も多数含まれるため、ウォーホル通にとっても新たな発見のある展覧会となります。

- ・開催期間:2月1日(土)~5月6日(火・振休)
- ・開館時間:10:00~22:00 (入場は閉館の 30 分前まで)  
※火曜日のみ 17:00 まで開館  
※4月19日(土)は「六本木アートナイト 2014」開催にともない翌 20 日(日)6:00 まで  
※4月29日(火・祝)および、5月6日(火・振休)は 22:00 まで
- ・休館日:会期中無休
- ・入館料:一般 1,500 円、学生(高校・大学生)1,000 円、子供(4 歳~中学生)500 円

詳しくは森美術館ウェブサイトをご覧ください。

#### 展覧会関連企画:Andy Warhol Café

ウォーホルの作品《レイン・マシン》の展示の横に、アンディ・ウォーホルとのスペシャルコラボレーションカフェを展開します。

- ・開催期間:3月1日(土)~5月6日(火・振休)
- ・場所:マドラウンジ スペース(東京シティビュー内)
- ・料金:無料 ※東京シティビュー/スカイデッキまたは森美術館の入場料が別途必要  
※4月19日(土)は、イベント開催のため18:00まで営業。4月20日(日)は、通常営業。  
※4月19日(土)は、18:00以降《レイン・マシン》をご覧いただけません。



アンディ・ウォーホル  
《マリリン・モンロー(マリリン)》  
1967 年  
紙にスクリーンプリント  
91.4 x 91.4 cm  
アンディ・ウォーホル美術館蔵  
© 2014 The Andy Warhol  
Foundation for the Visual Arts,  
Inc. / Artists Rights Society  
(ARS), New York  
Marilyn Monroe™; Rights of  
Publicity and Persona Rights:  
The Estate of Marilyn Monroe,  
LLC  
marilynmonroe.com



イメージ図

<一般の方からのお問い合わせ先>

森美術館(住所:東京都港区六本木 6-10-1 六本木ヒルズ森タワー53 階)  
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.mori.art.museum>

## 【東京ミッドタウン プログラム】

東京ミッドタウンでは、館内のオープンスペースを中心に、「動け、カラダ！」をテーマにした様々なイベントを開催いたします。ライブ、パフォーマンス、ワークショップなど、世界に羽ばたく才能が、動き、饗宴する1夜限りの特別ステージ「Mid-Space」を中心にアートナイトを盛り上げます。 ※館内は通常通りの営業となります。

### <特別プログラム>

#### ■Mid-Space

遊び心ある大人たちがアートを愉しむ一夜。今年も東京ミッドタウンでは、屋内のイベントスペースであるアトリウムで特別イベントを開催。音楽、光、ダンス、アートが絡み合う一夜限りのライブパフォーマンスが繰り広げられます。

- ・日時:4月19日(土)18:00~23:30
- ・場所:東京ミッドタウン・アトリウム
- ・参加料:無料 ※混雑の場合、入場制限を行う場合があります。



昨年の様子

#### ■ストリートミュージアム

Tokyo Midtown Award 2013 アートコンペ受賞者が六本木アートナイトに集結。彫刻、絵画、インスタレーションなど、アート作品が今年もストリートをジャック。パフォーマンスやワークショップなどのアートナイト特別プログラムも実施します。

- ・日時:【展示】4月19日(土)10:00~24:00/4月20日(日)10:00~18:00  
【特別プログラム】4月19日(土)19:00~23:30(予定)
- ・場所:東京ミッドタウン・プラザ B1F
- ・出展作家:Tokyo Midtown Award 2013 アートコンペ受賞者  
赤嶺智也、鈴木一太郎、スナックその、中里洋介、山上渡、渡辺元佳
- ・参加料:無料



昨年の様子

#### ■Tokyo Midtown Design & Art Live ~六本木アートナイトスペシャル~(仮称)

東京ミッドタウンとTOKYO FMがお贈りする、Design & Art を体感できるライブステージ。今回はアートナイトスペシャルとして、ワークショップや公開トークなど一日中イベントが盛りだくさんです。

- ・日時:4月20日(日)11:00~18:00
- ・場所:東京ミッドタウン・アトリウム



イメージ

#### ■武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジ企画「とりじんあんさんぶる ArtnighTorijin!!」

武蔵野美術大学 デザイン・ラウンジが企画する、ライブパフォーマンスを開催。頭は鳥、体は人間、そんな鳥と人間の境目を生きる不思議な生き物「とりじん」。人間と同じように武蔵野美術大学に通う学生であり、普段はアンサンブル団体として活動しています。そんな音楽大好きな彼らが東京ミッドタウン内に出発し、楽しい演奏とパフォーマンスで道行く人を盛り上げます。

- ・日時:4月19日(土)19:00~23:30(予定)
- ・場所:東京ミッドタウン・プラザ B1F マーケットストリート入口



撮影:富田美紀子

#### ■「MARTINI Blossom Lounge」営業時間延長

世界 No.1\*イタリアンスパークリングワイン「MARTINI(マルティーニ)」とともに、スタイリッシュな空間で春の訪れを楽しめる屋外ラウンジが、アートナイトの夜に限り営業時間を延長いたします。

※IWSR2012年調べ

- ・日時:4月19日(土)12:00~23:00/4月20日(日)12:00~20:00
- ・場所:東京ミッドタウン ミッドタウン・ガーデン さくら通り沿いエリア



#### ■ショップ・カフェ・レストランの特別サービス

東京ミッドタウンプラザ 1F のカフェ&レストランは今年も営業時間を延長いたします。Tokyo Midtown Award デザインコンペ受賞作品の「富士山グラス」でビールを提供する店舗も登場。



#### ■六本木アートナイト 2014 アット ザ・リッツ・カールトン東京 -ボディ・イン・モーション-

ザ・リッツカールトン東京は、「六本木アートナイト 2014」のテーマ「動け、カラダ！」に連動し、「ボディ・イン・モーション」と題してアートの作品展示とパフォーマンスを主催します。キャビンスクエアに面した1階ホテル入り口においては、4月19日午前10時から衣服と体の動きとの関係性をテーマにした作品の展示が行われます。45階ザ・ロビーラウンジにおいては、4月19日22時から展示作品と同じ作家による衣装でダンスパフォーマンスを行います。ホテルがアートに包まれる魔法の夜、この機会をお見逃しなく。

<一般の方からのお問い合わせ先>

東京ミッドタウン(住所:東京都港区赤坂9-7-1)

TEL:03-3475-3100(東京ミッドタウン・コールセンター) <http://www.tokyo-midtown.com>

## 【サントリー美術館 プログラム】

4月19日(土)は入館料一律500円。また、特別に24時まで開館を延長いたします。

### <特別プログラム>

#### ■アートナイト特別ワークショップⅠ「光と影のワークショップ」

江戸時代後期には、光や影に対する意識が高まり、その面白さを題材とした作品が多数生み出されました。中でも「影絵」は、時代や場所を越えて、現代でもさまざまに趣向を凝らして楽しまれています。本ワークショップでは、講師に音楽家・影絵アーティストの川村亘平斎氏を迎え、一緒にカラダを動かしながら、光と影がつくりだす不思議な世界を、あらためて体感することができます。

- ・日時:4月19日(土)18:00~18:30、19:00~19:30
- ・場所:サントリー美術館1階レクチャールーム
- ・参加料:無料 ※入館料なし
- ・対象:小学生以上



《光と影のワークショップ》

#### ■アートナイト特別ワークショップⅡ「光と影のワークショップ～特別編～」

川村亘平斎氏を講師に迎え、光と影のおもしろさをじっくり体験する特別プログラムを実施します。

- ・日時:4月19日(土)21:00~22:30
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料
- ・対象:小学生以上
- ・定員:30名 ※先着順に整理券を配布

#### ■アートナイト特別ワークショップⅢ「ガリバースコープで不思議な世界を見よう！」

ガリバースコープとは、様々な仕掛けで両目の位置を変化させた視界が体験できるめがねです。講師として現代美術家の木村崇人氏を迎え、そんな不思議なスコープを使って、身の回りの風景を観察してみることで、私たちが当たり前を感じている視覚の不思議を体感してみます。

- ・日時:4月19日(土)15:00~17:00
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料
- ・定員:30名 ※事前申込制
- ・対象:小学生以上



「ガリバースコープ」を使った  
ワークショップの様子  
《クリニック》

エイチ・アイ・エス本社会議室  
(東京)、2001年

#### ■フレンドリートーク

エデュケーターによるこどもから大人まで楽しめるやさしい展示解説を実施します。

- ・日時:4月20日(日)11:00~11:20、13:00~13:20、15:00~15:20
- ・場所:サントリー美術館6階ホール
- ・参加料:無料 ※別途要入館料
- ・定員:80名

### <期間中の展覧会>

#### ■『のぞいてびっくり江戸絵画 —科学の眼、視覚のふしぎ—』

江戸時代後期の日本には、蘭学の振興とともに、顕微鏡や望遠鏡など「視覚」に対する従来の常識を一変させる光学装置が海外からもたらされました。西洋の遠近法を用いた風景図や、顕微鏡による知見を取り入れた拡大図、博物学の知識を踏まえた写生図なども生まれ、江戸絵画は大きな変革期を迎えます。また、鏡や水面に映る映像、および影絵への関心も高まり、その面白さに注目した作品が多数制作されました。本展では、こうした江戸時代後期に花開いた新しい〈視覚文化〉を、小田野直武、司馬江漢、葛飾北斎、歌川広重らの作品を通してご紹介します。

- ・開催期間:3月29日(土)~5月11日(日)
- ・開館時間:10:00~18:00 (入館は閉館の30分前まで)  
※金・土および4月28日(月)、5月4日(日)、5月5日(月・祝)は20:00まで開館  
※4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない24:00まで開館
- ・休館日:毎週火曜日 ※4月29日(火・祝)、5月6日(火・振休)は18:00まで開館
- ・観覧料:一般1,300円、大学・高校生1,000円、中学生以下無料  
※4月19日(土)は「六本木アートナイト割引」のため一般および大学・高校生は一律500円



<一般の方からのお問い合わせ先>  
サントリー美術館(住所:東京都港区赤坂9-7-4)  
TEL:03-3479-8600 <http://suntory.jp/SMA/>

## 【21\_21 DESIGN SIGHT プログラム】

通常 20:00 閉館のところを、4月19日(土)は特別に 24:00 まで開館延長(最終入館 23:30)し、私たちの暮らしにとても身近で日々の生活に欠かせない「コメ」に着目した展覧会のスペシャルイベントを行います。

### <特別プログラム>

#### ■コメ展 × PechaKucha

21\_21 DESIGN SIGHT では、六本木アートナイトに合わせ、多種多様な人々が集まり情報共有する場として、世界中に広まった PechaKucha を好評につき今年も開催。企画展「コメ展」の会場を舞台に、クリエイター達の生の声にふれながら、新たな発見を楽しんでいただける時間となるでしょう。私たちの食文化と暮らしに身近でありながらも未知の神秘を内包する「コメ」。コメにまつわる文化的背景は多義にわたり、ときに私たちの想像を超越します。今回はスペシャル企画として、コメにまつわる世界で“突き抜けた”方々にご登壇いただきます。

- ・日時:4月19日(土) 20:00~22:00(途中休憩含む)
- ・場所:21\_21 DESIGN SIGHT B1Fロビー
- ・司会:アストリッド・クライン/マーク・ダイサム(PechaKucha考案者、建築家)
- ・出演:計9組のデザイナーやクリエイターを予定(決定次第ウェブサイトで順次発表)
- ・条件:予約不要、出入り自由 ※混雑時は入場を制限する場合がございます
- ・参加費:無料 ※当日の入場券が必要

## コメ展 × PechaKucha™

### <期間中の展覧会>

#### ■『コメ展』

コメは、私たちの暮らしにとても身近で、日々の生活に欠かせないものです。日本では、コメを中心とした食文化を深めつつ、稲作の歴史とともに様々な文化が発展してきました。本展では、私たちの文化の根幹をなすコメのありようを新鮮な目で見つめ直していきます。そして、その未来像を来場者の皆様とともに考えていきます。

- ・開催期間:2月28日(金)~6月15日(日)
- ・開館時間:11:00~20:00(入館は19:30まで)  
※4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない24:00まで開館
- ・休館日:毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館)
- ・観覧料:一般1,000円、大学生800円、中高生500円、小学生以下無料



#### <一般の方からのお問い合わせ先>

21\_21 DESIGN SIGHT (住所:東京都港区赤坂 9-7-6 東京ミッドタウン ガーデン内)  
TEL:03-3475-2121 <http://www.2121designsight.jp>

## 【国立新美術館 プログラム】

4月19日(土)は、特別に 22:00 まで開館延長いたします。様々な展覧会やプログラムにご期待ください。

### <特別プログラム>

#### ■Egg

いけばな小原流の家元であり、アーティストとしても活躍する小原宏貴が、根、枝、花、葉などをつかって、生命を宿す「器」=卵をつくりあげます。

- ・日時:4月19日(土)~4月21日(月)
- ・場所:国立新美術館エントランス周辺
- ・観覧料:無料

#### ■TOKYO\_ANIMA!2014

若手アニメーション作家 15 名~20 名の新作・近作を一挙上映。インターネット以外の大スクリーンで日本の最新の短編アニメーションに触れられる数少ない機会といえるでしょう。

- ・日時:4月19日(土)~4月20日(日)時間未定
- ・場所:国立新美術館講堂、研修室A・B
- ・参加料:無料 ※入場整理券を配布予定

## ■もうひとつの「イメージの力」

期間中に開催している「イメージの力」展のインスタレーションビューを美術館の外壁に投影し、プロジェクションマッピングします。美術館を華やかに彩るとともに、映像によって「イメージの力」展の魅力を伝えます。

- ・日時:4月19日(土)～4月20日(日)
- ・場所:国立新美術館前庭
- ・観覧料:無料

## ■プロジェクト大山 presents 仮面舞踏会ーイメージの力、うごく!

ダンスユニット・プロジェクト大山が、「仮面舞踏会」と称して仮面を用いたダンスパフォーマンスを行います。来館者の皆さまにも仮面をつけていただき、パフォーマンスを観覧するだけでなく、仮面舞踏会の参加者のひとりになっていただきます。静かに作品を鑑賞するという普段の美術館とは違った楽しみ方のひとつを、ぜひこの機会に体感してください。

- ・日時:4月19日(土)18:30～19:00(予定)
- ・場所:国立新美術館1階ロビー
- ・参加料:無料



写真:石井雄太

## ■コンサート「雅楽の響き～魅力ある日本の音世界～」

日本の伝統音楽・雅楽のコンサート。演奏は、雅楽の古典曲をはじめ、廃絶曲の復曲、正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏などに積極的に取り組み、国内外で幅広い活動を展開する「伶楽舎(れいがくしゃ)」。初心者にも分かりやすい解説を交え、雅楽古典の名曲をお聴き頂きます。また、雅楽楽器の体験コーナーを設け、楽しみながら学べるコンサートです。

- ・日時:4月20日(日)15:00～16:30
- ・場所:国立新美術館1階ロビー
- ・参加料:無料



伶楽舎

## <期間中の展覧会>

### ■『イメージの力ー国立民族学博物館コレクションにさぐる』

古来から人間は、世界の本質や構造にかたちや色を与えて、イメージとして視覚化してきました。本展覧会は、イメージの創造とその享受のあり方に人類共通の普遍性はあるのかという問いをテーマにかかげ、仮面や神像、そして現在活躍中の美術家の作品まで、古今東西のあらゆる造形物を紹介いたします。

- ・開催期間:2月19日(水)～6月9日(月)
- ・会場:国立新美術館 企画展示室2E
- ・開館時間:10:00～18:00、金曜日は～20:00(入場は閉館の30分前まで)  
※4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない22:00まで開館し、入場無料
- ・休館日:毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館、5月7日は休館)
- ・観覧料:1,000円(一般)、500円(大学生)



神像付きの椅子  
民族:イアトムル  
国名:バブアニューギニア  
1988年収集  
国立民族学博物館蔵  
写真提供:国立民族学博物館

### ■『中村一美展』

1956年生まれの中村一美は、1980年代より一貫して、アメリカの抽象表現主義を批判的に乗り越える新たな絵画、および絵画理論を追求してきました。本展では、初期作品から最新作までを概観し、現代絵画の新たな可能性を探ります。

- ・開催期間:3月19日(水)～5月19日(月)
- ・会場:国立新美術館 企画展示室1E
- ・開館時間:10:00～18:00、金曜日は～20:00(入場は閉館の30分前まで)  
※4月19日(土)は「六本木アートナイト2014」開催にともない22:00まで開館し、入場無料
- ・休館日:毎週火曜日(4月29日、5月6日は開館、5月7日は休館)
- ・観覧料:1,000円(一般)、500円(大学生)



《存在の鳥 107(キジ)》2006年  
アクリリック/綿布  
260.1×190.8cm  
東京国立近代美術館蔵

<一般の方からのお問い合わせ先>

国立新美術館(住所:東京都港区六本木7-22-2)  
TEL:03-5777-8600(ハローダイヤル) <http://www.nact.jp/>

## **<協力企画>**

### **■グランド ハイアット 東京 コラボレーション**

「六本木アートナイト」を楽しみつくす、グランド ハイアット 東京での特別宿泊プラン。夜を徹して開催される多彩なアートイベントを満喫した後は、ぬくもり感溢れる客室でくつろぎのひとときをお過ごしください。グランド ルーム(42 m<sup>2</sup>)での宿泊+六本木の美術館4館(森美術館、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館)へ入場できる特別券をプレゼント。(1回のご滞在につきお一人様1枚)

- ・期間:4月19日(土)~4月26日(日)
- ・価格:1室1名 36,612円~68,342円、1室2名 42,714円~74,444円(税・サービス料込、宿泊税別)
- ・プレスのお問い合わせ先:グランド ハイアット 東京 マーケティング コミュニケーションズ(TEL:03-4333-8882)

### **■ザ・リッツ・カールトン東京 六本木アートナイト・エキスペリエンス**

「六本木アートナイト」を存分にお楽しみいただけるよう、ザ・リッツ・カールトン東京では特別宿泊プランをご用意。夜が更けるにつれて魅力を増すアートイベントやパフォーマンスをご堪能いただいた後は、ザ・リッツ・カールトン東京のおもてなしで寛ぎのひと時をお過ごしください。

- ・期間:4月16日(水)~4月20日(日)
- ・内容:客室「デラックス」(52 m<sup>2</sup>)でのご宿泊+六本木の美術館4館(森美術館、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館)へご入場いただける特別券をプレゼント。  
(1回のご滞在につきお一人様1枚)
- ・価格:1名様・2名様同額で48,000円(税・サービス料、宿泊税別)
- ・プレスのお問い合わせ先:ザ・リッツ・カールトン東京 セールス&マーケティング部(TEL:03-6434-8708)

## 【六本木アートナイト 2014 アーティストディレクター 日比野克彦プロフィール】

1958年岐阜市生まれ。東京藝術大学大学院修了。1986年シドニー・ビエンナーレ、1995年ヴェネチア・ビエンナーレに出品。領域横断的、時代を映す作風で注目される。2003年、越後妻有アートトリエンナーレで[明後日新聞社文化事業部]を設立、明後日朝顔プロジェクトの活動を開始。2005年水戸芸術館[HIBINO EXPO]、2007年金沢 21世紀美術館[「ホーム→アンド←アウェー」方式]、熊本市現代美術館[HIGO BY HIBINO]など個展を開催。2007年より「種は船」を金沢・横浜・鹿児島・種子島などで造船。2010年より3カ年かけて制作した自走式の船で2012年「種は船航海プロジェクト～from 舞鶴」で3ヶ月間航海を実施。2013年は東北を中心に活動の幅を広げ、様々な地域の人々と共同制作を行いながら、受取り手の感受する力に焦点を当てたアートプロジェクトを展開し、社会で芸術が機能する仕組みを創出する。また、2010年よりサッカーW杯にむけ、スタジアムをスポーツとアートの交流をはかる「MATCH FLAG PROJECT」を開始。2011年には復興支援活動「HEART MARK VIEWING」を立ち上げ、モノを作る喜びを取り戻すきっかけを作り、人と人を繋ぐ試みを行う。2012年「ぎふ清流国体・ぎふ清流大会」総合プロデューサーを務め、2013年 瀬戸内国際芸術祭 2013において、海の底の時間に焦点をあてた「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト『一昨日丸』」を実施。他、川崎市岡本太郎美術館・横須賀美術館に企画展を開催。現在、東京藝術大学教授、日本サッカー協会理事を務める。



## 【六本木アートナイト 2014 開催概要】

■正式名称：六本木アートナイト 2014

■開催テーマ：「動け、カラダ！」

■基本理念：「六本木アートナイト」は六本木の街を舞台にした一夜限りのアートの饗宴です。様々な商業施設や文化施設が集積する六本木の街に、アート作品のみならず、デザイン、音楽、映像、パフォーマンスなどを含む多様な作品を点在させて、非日常的な体験をつくり出します。そして、生活の中でアートを楽しむという新しいライフスタイルを提案します。また、アートと街が一体化することによって、六本木の文化的なイメージを向上させ、東京という大都市における街づくりの先駆的なモデルを創出します。東京を代表するアートの祭典として、さらなる発展を続けます。

■日時：2014年(平成26年)4月19日(土)10:00～4月20日(日)18:00

<コアタイム> 4月19日(土)18:17【日没】～4月20日(日)5:03【日の出】

※コアタイムはメインとなるインスタレーションやイベントが集積する時間帯です。

■開催場所：六本木ヒルズ、森美術館、東京ミッドタウン、サントリー美術館、21\_21 DESIGN SIGHT、国立新美術館、六本木商店街、その他六本木地区の協力施設や公共スペース

■入場料：無料（但し、一部のプログラムおよび美術館企画展は有料）

■主催：東京都、アーツカウンシル東京・東京文化発信プロジェクト室(公益財団法人東京都歴史文化財団)、六本木アートナイト実行委員会【国立新美術館、サントリー美術館、東京ミッドタウン、21\_21 DESIGN SIGHT、森美術館、森ビル、六本木商店街振興組合(五十音順)】

■共催：港区

■公式サイト：<http://www.roppongiartnight.com>

■一般問い合わせ先：03-5777-8600(ハローダイヤル) 営業時間：年中無休 8:00～22:00

### 報道関係の皆様のお問い合わせ

六本木アートナイト実行委員会 広報プロモーション事務局 (株式会社プラチナム内)

担当：福田、丸山、北田 TEL:03-5572-6072 FAX:03-5572-6075 MAIL:[roppongiartnight@vectorinc.co.jp](mailto:roppongiartnight@vectorinc.co.jp)

